

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

## とつかルーテル保育園

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町 100-4

運営主体：社会福祉法人 イクスス会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～12 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	13～20 ページ
利用者本人調査分析	21～22 ページ
事業者意見	23 ページ

2007 年 5 月 14 日 公表

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	社会福祉法人 イクスス会 とつかルーテル保育園		
報告書作成日	2007年5月6日	評価に要した期間	約6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

## 評価方法

1、自己評価 実施期間:06年11月中旬～12月27日	<p>全職員の研修会で説明し、常勤職員が自宅に持ち帰って、個別に自由に記入した。</p> <p>職員が個別に記入した評価結果をクラスごとに一つにまとめ、それをもとに園長、主任が協議しながら一項目ずつ確認し、評価をまとめた。</p>
2、利用者家族アンケート調査 実施期間:06年12月1日～12月27日	<p>全利用者（園児）の保護者（86家族）へ事業者（園）から手渡し。</p> <p>各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>
3、訪問実地調査 実施日:第1日 07年3月12日 第2日 07年3月13日	<p>第1日午前中は、各クラスの保育観察や5歳児の聞き取り調査。昼食はランチルームで3・4・5歳児と一緒にいただいた。午後は書類調査、および園長・主任・各クラスリーダー・グループリーダーに面接調査を実施。</p> <p>第2日午前中は、各クラスの保育観察と5歳児の聞き取り調査、書類調査。昼食はランチルームで3・4・5歳児と一緒にいただいた。午後は引き続き書類調査と、看護師、栄養士に面接調査の後、園長・主任に面接調査と意見交換を実施。</p>
4、利用者本人調査 実施日:第1日 07年3月12日 第2日 07年3月13日	<p>観察調査は、園内および戸外（園庭・公園・散歩に同行）にて実施。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児以上を中心に、保育中および食事に実施。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

とつかルーテル保育園は、2005年（平成17年）4月1日に開園し、3年目を迎えるところです。運営法人は社会福祉法人イクソス会です。姉妹園として、大船ルーテル保育園（本園）と分園、つづきルーテル保育園があり、法人としては4番目の保育園となります。法人の基本方針に基づいて、キリスト教保育を基本とし、モンテッソーリ教育を取り入れた保育を行っています。

定員は0～5歳児の120名ですが、2年目の現在、園児は136名、職員は常勤・非常勤合わせて37名となっています。

保育園のすぐそばを流れる柏尾川沿いには、多くの企業や工場が所在し、当園のある戸塚駅周辺は商業施設やマンション等が多い地域となっています。

2階建ての園舎は、姉妹園のつづきルーテル保育園と同じ設計で、木をふんだんに使い、暖かみのある落ち着いた建物です。また、全保育室が南側の園庭に向かって建てられ、ゆったりとして開放的な、保育の流れに沿った作りとなっています。

### 高く評価できる点

#### 1、礼儀正しく、自由闊達な子どもたち

キリスト教の教えのもと、子どもたちは、毎朝行われる礼拝を通して、神様の愛を学び、人を思いやり、いたわる心を育てています。また、礼拝のマナーを知ること、他人との関わりにおいても大切な礼儀などの基本的な生活習慣を身につけているようです。

子どもたちは、おおらかで元気に園生活を楽しみ、園内のどこでも明るい楽しそうな声が聞こえています。

モンテッソーリの教具にも積極的に関わり、自ら関心のあることに集中して取り組み、保育士の支援を得て、徐々に段階を踏んでいます。

注：モンテッソーリ教育について（ルーテル保育園・手引書より抜粋）

モンテッソーリ教育とは、1870年、イタリアのマリア・モンテッソーリ（医学博士、哲学博士）が、障がいのある子どもの教育を試行として実践したところから生まれました。この教育は従来の一斉保育とは異なり、保育士主導型の保育ではなく、主として園児の個別指導のかたちをとります。

具体的には、感覚教育、日常生活訓練、言語、数、生物、地理、音楽といった、カリキュラムに従って、保育室に備えられた各種の教具を園児が自由に選択してその教具に触れることを通して幼児の成長を促すものです。

保育士はアドバイザーとして常に幼児の近くに位置し、適切な助言と提供のために備え、また幼児の関心が教具に惹きつけられるようにと、部屋の環境づくりに配慮しています。

## 2、休日保育の実施

戸塚区の要請を受けて、日曜や祝日、年末年始に仕事の都合や緊急な用事など、家庭で保育ができないとき、小学校就学前の子どもを一時保育として預かっています。

現在、他の認可保育所在籍中の子どもを含めた、約40人の登録があり、平均して4~6人が利用し、特に祭日と年末の利用が多くなっています。

戸塚区内の認可保育園では、一時保育は当園を含めて11園が行っていますが、休日保育を実施しているのは、当園1園のみです。地域の子育て支援として積極的に情報を提供し、今後も力を入れて継続していくことが期待されます。

### 改善や工夫が望まれる点

#### 1、地域ニーズに応じた子育て支援事業の更なる推進を

核家族化が進み、育児不安を抱えながら地域の中で孤立しがちな保護者が増えています。また、児童虐待、発達障がい等のある子どもの増加など、家庭だけでは解決できない問題も多くなっています。保育園には、日々の保育の実践と専門的知識を活かし、地域の子育て支援の役割を果たす事が期待されています。

区内にある男女共同参画センターなど公共施設で開催される子育て支援事業と協力・連携することで、地域のニーズを把握し、園としてどのようなサービスが提供できるか、職員間で検討することが望めます。

#### 2、保護者とのコミュニケーションの更なる向上を

園の保育方針については、保護者の満足度は高く、特にモンテッソーリ教具による保育に対して、保護者は十分理解していると思われます。ただし、保護者アンケートでは、ケガや行事の情報提供や保護者との連携・交流などについて、いくつかの意見や要望の声があります。

これは、まだ開園2年で、園と保護者、双方の理解が深まっていないということ、また、開園当初に園の職員体制が安定しなかったことや、対応の未熟さなどによる保護者の不安から出てきた意見とも考えられます。

保育内容について、その目的や趣旨をきめ細やかに説明し、保護者の理解を深めること、園での子どもたちの様子や、行事等に関する情報提供の方法について、さらに検討していくことが望めます。

昨年9月より着任した園長は、保護者との関係改善に努めています。そして、園児たちとともに遊び、園全体を把握することを心がけています。また、園長は姉妹園を立ち上げた実績をもつ牧師であり、今後、保護者と園の連携を深め、共に子どもの成長を支援して行くために、その役割が期待されています。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

## 評価領域ごとの特記事項

- 1、 人権の尊重
  - ◇ 保育の基本方針「整えられた環境において、子どもの情緒的発達を助ける。キリスト教保育とモンテッソーリ教育によって、園児に質の高い生活支援をする。」に基づき、子どもたちは一人ひとり大事にされ、のびのびと園生活を送っています。
  - ◇ 守秘義務の意義や目的は職員心得に明記され、勉強会で取り上げています。個人情報の取り扱いについても全職員で確認しあっています。
  - ◇ 虐待の定義が全職員に周知されており、虐待が明白になった場合や疑わしい場合にも、関係機関との連携が取れる体制になっています。
- 2、 意向の尊重と自立生活支援への支援に向けたサービスの提供
  - ◇ 保育理念や基本方針は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものになっています。園では子どもの姿を肯定的にとらえ、子どもの力を信じ温かく見守る姿勢で、子どもが友だちと一緒に育ちあい、自分の思いを表現でき、いきいきと生活できる環境づくりを目標とした保育を行っています。
  - ◇ 子どもたちは、日々の散歩を通して地域の人々と交流しています。また、花の日や収穫感謝祭の時に、お世話になっている地域の病院、消防署、警察署等へ感謝の品を持参して訪問しています。
- 3、 サービスマネジメントシステムの確立
  - ◇ 保育の基本方針に基づき、保育士は子どもをよく観察し、一人ひとりの意見・意思を汲み取り、その中から子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるように指導計画を作成、見直しています。
  - ◇ クラスリーダー会議、カリキュラム会議、毎朝のミーティング等を通して、全職員が日々の保育に積極的に関わり、状況に応じて柔軟に対応しています。
  - ◇ 第三者委員に直接苦情を申し立てることができるように園の手引書に記載しています。また、玄関に意見箱を設置して、書面での要望・苦情の申し入れに備えています。更に、保護者からの要望や意見は、個人面談、懇談会や登園・降園時の話し合い等を通して聞き取るように努めています。
  - ◇ 健康・衛生管理マニュアル、安全管理マニュアルを整備して、全職員に周知徹底しています。事故や災害に対する緊急連絡体制も確立されており、避難訓練も定期的実施しています。
  - ◇ 運営法人イクソス会として、4園共通のマニュアルを整備しています。更に、共通マニュアルを基に、園独自のものも作成・整備しています。
- 4、 地域との交流・連携
  - ◇ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスについては、開園2年目ということもあり、具体的な取り組みは、これからです。ただし、戸塚区からの要請に応じて、就学前児童を対象とした「休日保育」は、開園以来実施しており、地域の子育て家族の期待に応えています。
  - ◇ 地域活動への場の提供として、吉田町町内会の子ども会行事や戸塚区役所の保健師が開催する「赤ちゃん教室」などに、ホールを会場として提供しています。
  - ◇ 区福祉保健センター、地域療育センターなど、地域の関係機関とは、連携をとっています。
- 5、 運営上の透明性の確保と継続性
  - ◇ 事業者として守るべき法・規範・倫理等は職員心得に明記し職員に周知徹底を図っています。また、園長は重要な意思決定にあたっては、関係職員・保護者等から情報・意見を集め、説明する仕組みを取り入れています。
  - ◇ 保育の理念や基本方針等について職員心得に明記し、職員に周知徹底を図っており、職員はその実践に努めています。
  - ◇ 園長は区の園長会や区・市の社会福祉協議会の会議等、また、法人の4園園長・クラスリーダー会議等への出席を通して、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。
- 6、 職員の資質向上の促進
  - ◇ 園の人材育成には特に力を入れています。園内研修を実施し、外部研修へ積極的に参加しています。
  - ◇ 採用後、保育士は大学等で2年間のモンテッソーリ教員養成コースを受講し、理論と実践を学び、実際の保育の場において更に研鑽を重ねています。
  - ◇ 職員は、個人ごとの研修受講簿をつけている他、個々に資質向上に向けた目標を毎年定め、年に1回の理事長面接を通して確認し、評価を受けています。
  - ◇ 実習生受け入れの体制が出来ており、受け入れマニュアルも整備しています。実習生には各クラスのリーダーが担当となり、指導を行っています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある



評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当園は、キリスト教精神を基に、モンテッソーリ幼児教育を柱として独自の保育をすすめて、0歳から就学前までの一環保育を基本理念としています。</li> <li>・「整えられた環境において、子どもの情緒的発達を助け、園児に質の高い生活支援をするとともに、地域に根ざす保育園として保護者の就労支援」を基本方針にあげています。</li> <li>・当園の保育は、従来の保育士主導の一斉保育とは異なり、主として園児の個別指導の形をとり、幼児の個々の成長を考えています。</li> <li>・職員は、モンテッソーリ教育やキリスト教の保育について、大学のモンテッソーリ教員養成コースやキリスト教の専門誌により学んでいます。さらに、基本理念や基本方針について、職員心得や手引き書を読み、職員研修での相互確認によって理解を深めています。</li> <li>・保育士は子どもをよく観察し、1人ひとりの意見・意思を汲み取り、個別に記録*しています。その記録から子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるように指導計画を作成、見直しをしています。 *モンテッソーリ教具に触れた日付と取り組みの様子、保育士との関わり方などの個別記録（以下、「モンテッソーリ記録」）</li> <li>・子どもの社会性・協調性を促すため、3～5歳を異年齢児保育（縦割りクラス）としています。</li> <li>・保育計画は、地域性や保護者の勤務状況などから行事を土・日に計画するなど考慮に入れた上で、保育の基本方針に沿って作成されています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前の子どもの発達状況や課題等は、事前に保護者より提出される児童票などの書類、及び入園前の保護者面接から把握しています。把握した情報は、入園時面接記録に整理し、保育士間で共有し、日々の保育に活かしています。</li> <li>・新入園児の受け入れ時には、子どもの慣れを考慮して短縮保育（ならし保育）を行っています。</li> <li>・「モンテッソーリ記録」を活用し、子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っています。</li> </ul>

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 17 年に開設された当園は、木をふんだんに使いゆったりとした、開放的で暖かみのある落ち着いた建物となっており、園舎は、子どもたちが快適に過ごせるよう、清潔さ、採光、換気、照明等が配慮されています。</li> <li>・園舎は、施設衛生管理マニュアルに基づき、きめ細かく維持管理しており、毎月チェックし、結果を記録しています。</li> <li>・沐浴設備、シャワーの設備も完備され、マニュアルに従って管理し、日々チェックしています。</li> <li>・低年齢児には、小集団保育に適したコーナーが設けられています。</li> <li>・各クラスとも食べる・寝るなどの機能別の空間が確保されています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、乳児については個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。</li> <li>・個別の保育目標・計画は定期的に（月 1 回を原則）見直すとともに、月毎に保育計画を立て、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っています。</li> <li>・クラス内では、常に一人ひとりの子どもについての話し合いを行っており、重要部分については連絡帳や口頭で保護者に説明しています。</li> <li>・子どもや家庭の個別の状況や要望は、それぞれ児童票に記録して、日々の保育に反映しています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮を要する子どもについては、個別にクラス会議やクラスリーダー会議で話し合い、必要な情報を共有すると共に、その経過は記録しています。</li> <li>・環境を整備するとともに、障がいのある子どもに対しては、担当保育士だけでなく園全体で話し合い、落ち着いて過ごせる様に配慮しています。障がいについて、全職員で学習しており、話し合っています。</li> <li>・アレルギー疾患のある子どもには、保護者からかかりつけ医の指示書の提出を受け、代替食を用意しています。また、保護者と連携して、食べられる食材を増やすように努力しています。代替食・除去食の提供においては、できるだけ他の子どもたちと見た目が違わないように工夫しています。</li> <li>・国際（英語）の時間があり、外国人講師とのふれあいを通して、文化や生活習慣の違いを子どもたちが理解できるように配慮しています。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員が任命されており、直接苦情を申し立てることができるように保育園手引書に記載しています。また、玄関に意見箱を設置して書面での要望・苦情の申し入れに備えています。更に、保護者からの要望や意見は、個人面談、懇談会や登園・降園時の話し合い等を通して把握するように努めています。</li> <li>・第三者委員を交えて対応するしくみができており、園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がとれるようになっています。</li> <li>・過去の苦情・トラブルや要望内容は記録し、園の運営に活かしています。また、法人 4 園のクラスリーダー会議においても紹介し合い、解決や再発防止の為に、情報の共有化を図っています。</li> </ul>

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンテッソーリ教育の理念に沿って年齢や発達に相応しい環境構成に配慮し、一人ひとりが興味のある教具を取り出し、取り組めるようになっています。ただしモンテッソーリ活動は、集中力を養うために使う時間帯が決まっています。</li> <li>・自由遊びの時間には、子どもたちは大好きな外遊びやごっこ遊びをしたり、一人で静かに本を読むなど自由に過ごしています。</li> <li>・メダカやカニ、金魚などを飼育したり、5歳児になると、一人が一つずつチューリップを球根から育てるなど、毎日世話をする習慣をつけたり、生き物を慈しむ心を育てています。</li> <li>・絵画や国際の時間、体育遊びの中で、子どもの年齢や発達状況に合わせて、制作や英会話、身体を使った表現等が、自由にできるように配慮しています。</li> <li>・3～5歳は異年齢児保育（縦割りクラス）とし、大きな子と小さな子が自然に触れあい育ちあう環境を作っています。2歳児は、縦割りクラスに慣れるため、年度の後半から、数名ずつ交代で幼児クラスに行き給食を食べる「交換給食」をしています。</li> <li>・園庭や、乳児クラスの遊び場になっている2階のテラスでは、幼児と乳児の交流もあります。</li> <li>・週に1回体育遊びの時間を設け、発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識して作っています。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、よく食べ、良くおしゃべりをして、たくさんおかわりをしています。食べきれないときには保育士は強制せず、少しだけ食べてみるように勧め、量を減らしています。</li> <li>・ランチルームを設け、日常の保育と食事の場面を区別しています。また、季節行事などに合わせた献立や盛りつけをしたり、お誕生会の日には、テーブルクロスを掛け、おやつにケーキなど、食欲を促すようにメニューや雰囲気づくりに工夫しています。</li> <li>・栄養士は、子どもたちが食事をしているとき、その日の食材を見せに行き、食べている様子を見るようにしています。栄養士が3人いるので、より積極的な食育への取り組みを期待します。</li> <li>・食材の仕入れは、地元の商店を使い、特にたま野菜（横浜の地物）が出たら使うようにしています。</li> <li>・2週間ある保育参観の際に試食会を行い、人気メニューを出し、一口ずつ試食してもらい、園で提供する食事に対する関心を促しています。魚、とうふ、麺類のメニューを週に1度ずつ出しています。</li> <li>・午睡を一斉活動とせず、眠れない子どもは、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしています。年長児は週に2日午睡のない日を設けています。</li> <li>・排泄は個人差を尊重し、トイレトレーニングは、一人ひとりの発達状況に対応し、保護者と連携をとって進めています。</li> </ul>





<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から、「健康診断書」を提出してもらい、入園までの家庭環境、アレルギー、既往症等の情報を把握しています。また、園での子どもの健康状態は、連絡帳に記入し、必要に応じてお迎えの時に保護者に直接伝えています。</li> <li>・一人ひとりの健康診断・歯科検診の記録はクラス毎にまとめてファイルされ、必要に応じて保護者や主治医と連携して対応しています。</li> <li>・登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応について、「感染症対策衛生管理マニュアル」や手引きに明記され、産業医の協力も得て、対応を検討し、保護者にも情報を提供しています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理のマニュアルは理事長が毎年見直し、年2回の全園での職員研修に全職員が参加し、マニュアルの内容を共有しています。</li> <li>・清掃は、マニュアルに従って行っています。一部は、清掃業者に委託していますが、薬品使用での留意点等を園から説明をし、清潔・適切な状態を保っています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知され、緊急連絡体制が確立し、各保育室に掲示されています。</li> <li>・子どものけがについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録し、法人全体で年3回行われる職員会議で、ケガの原因分析対応策表を示し、再発防止策の検討が行われています。</li> <li>・全職員が、小児・乳児の心肺蘇生法講習会を受講し、身につけています。</li> <li>・不審者の侵入防止策として、正面入口にモニター付きのインターホンと電子錠を取り付け、警備会社と契約し、不審者等に対する緊急通報体制が確立されています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに対して、威圧的な言葉遣いをしないように、職員心得に記載されています。保育士は、子ども一人ひとりの話を良く聞き、子どもの気持ちや発言を受け入れ、穏やかにわかりやすい言葉で、子どもの個々の成長を促すように支援をしています。</li> <li>・保育室内は開放的な配置となっておりますが、時には友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所を確保するために、棚で区切るなど工夫が望まれます。</li> <li>・守秘義務の意義や目的は、職員心得に記載があり、勉強会で取り上げ、個人情報取り扱いについて、全職員に周知しています。</li> <li>・虐待の定義について、月刊誌の「キリスト教保育」でも取り上げられており、全職員に周知され、明白になった場合には、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えています。家庭支援の必要と思われる保護者の話を聞いたり、様子を観察し必要な援助をする体勢ができています。</li> <li>・行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をせず、遊びも色も自由に選べるようになっていきます。</li> </ul>

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 保護者に対しては、年度末に在園児に、新入園児には、入園前にそれぞれに対して説明会を開き、保育方針を説明する機会を設けています。
- ・ クラス全体の様子を伝える懇談会で、保護者に実際にモンテッソーリの教具を提示し説明をして、園での保育の様子を伝えています。
- ・ 連絡帳は幼児クラスも一人ひとり利用し、必要に応じて情報交換を行っています。
- ・ クラス毎の「月の保育」と、大船ルーテル教会発行の「月報」を毎月発行し、日常の子どもの様子については、保育室の前の掲示板で情報を提供しています。
- ・ 行事や保育参観のあと、連絡ノートの記述から保護者の意向を読み取っていますが、保育方針が理解されているかどうかを把握するための、より積極的な工夫が望まれます。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当園は、開園後、日も浅い事もあり、地域の人々との交流の中で施設に対する要望などの情報を得る段階には至っていません。</li> <li>・ 地域の子育てを支援するサービスとしては、週3日までの「一時保育」を行っており、月に2~3名の利用があります。</li> <li>・ また、当園は、就学前の子どもを対象とした「休日保育」を実施しています。通常は4~6名の利用ですが、戸塚区では唯一の「休日保育」実施園であり、祭日や年末には利用者が多くなっています。</li> <li>・ 開園まもない状況ですが、今後、地域のニーズに応じて子育て支援サービスを一層すすめていくために、関係機関や他施設とも情報の共有化を図り、園としてどのようなことができるか、職員間で定期的に検討し取り組んでいくことが望まれます。</li> <li>・ 園長は、戸塚区主催の会合や、横浜市社会福祉協議会の研修会への参加を通して、地域の子育て支援ニーズに関する情報の入手に努めています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に対する情報提供としては、限られた提供範囲になりますが、大船ルーテル教会発行の「月報」があげられます。記事の中では、教会としての情報提供と共に、当園を含めた法人4園の動きや行事を紹介しています。</li> <li>・ 保育園の専門性を活かした相談機能としての「育児相談」については、地域への広報の方法など検討が望まれます。</li> <li>・ 尚、保護者等からの相談内容に応じた関係機関・団体との連携についてのしくみは出来ています。</li> </ul>




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園後2年と日が浅い事もあり、園の地域開放や地域コミュニティへの働きかけは、これから、という段階です。</li> <li>・散歩の途中での挨拶・言葉がけ、公園での親子連れなど地域の人と交流しています。また、6月の花の日（1年で一番花の豊富なこの季節に、美しい花を通して、感謝を表すキリスト教の行事）や11月の収穫感謝祭には園児たちが、お世話になっている近隣の病院、区役所、消防署、警察署等へ感謝の品を持って訪問しています。</li> <li>・子どもたちに読み聞かせを行っている地域のボランティアグループに来園して頂き、「お話し会」を開きました。</li> <li>・地域の行事や活動には、まだ、園児が参加している状況にはありませんが、吉田町町内会の子ども会の行事のために、また、戸塚区役所の保健師が開催する「赤ちゃん教室」のため、それぞれ会場の提供を行っています。</li> <li>・保育園の地域開放や地域コミュニティへの働きかけについての、今後の取り組みが望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の利用者が関心のある、園についての情報は、戸塚区の広報誌、及び横浜市のホームページにより提供しています。</li> <li>・園の基本方針や利用条件・サービス内容等に関する問い合わせについては、園長が、随時、対応しています。また、保育に支障をきたさない範囲で、見学の希望にも対応しています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・実習生の受け入れマニュアルが作成されています。年度初めにボランティア、実習生の担当責任者を定め、受け入れる体制を整備しています。</li> <li>・地域で子どもたちに読み聞かせを行っているボランティアグループに来園して頂き、「お話し会」を開催しましたが、まだ、ボランティアの感想や意見を園の運営の参考にする状況には至っていません。</li> <li>・実習においては、毎日、実習担当クラスのクラスリーダーと話し合いの機会を設けて、実習の効果をあげられるように配慮しています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材の育成については特に力を入れています。園の理念や方針に相応しい職員を採用し、採用後は2年間のモンテッソーリ教員養成コースへの受講を奨励し、支援しています。更に園内における各会議・研修等を通して、人材の育成に努めています。</li> <li>・ 職員の研修体制は確立されており、外部の研修会、研究発表会へも積極的に参加し、また、海外研修への参加も行っています。</li> <li>・ 職員は個々に研修受講簿をつけ自己研鑽に励んでおります。年末には1年の振り返りと次年度の資質向上に向けた目標を定めたレポートを作成し、運営法人の理事長面接を通して評価を受け、確実なものにしています。</li> <li>・ 一貫した計画の下に研修が行われていますが、研修計画が明文化された状態にはありません。また、外部の研修会・研究発表会における研修の成果を広く活用する状況には至っていません。今後、研修計画の文書化、研修成果の更なる活用などについて検討が望まれます。</li> <li>・ 非常勤職員にも業務マニュアルを配布し、勉強会、クラスリーダーによる業務指導を行っています。また、常勤職員の実務を通しての教育・指導により資質向上を図っています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員はモンテッソーリ教員養成コースを修了し、実践において保育技術の向上に努めています。そして、毎月開催するクラスリーダー会議などにおける意見交換・討議、ケーススタディも行うクラス毎の会議を通して、更なる技術の向上を図っています。</li> <li>・ モンテッソーリ勉強会や聖話勉強会においては、外部より講師を招いて指導を受けています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のモチベーションの維持向上に関して、経験・能力や習熟度に応じた役割が職員心得に明文化されています。</li> <li>・ 職員は、本人の適性・経験・能力に応じた役割を与えられやりがいや満足度を高めています。</li> <li>・ 運営法人の理事長は、年末に提出される振り返りのレポート及びアンケートを丁寧に読み込んで職員一人ひとりと面接を行い、満足度・要望などを把握しています。今後は、園としての取り組みも望まれます。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者として守るべき、法・規範・倫理等は、職員心得に明文化されており、会議等において周知徹底されています。</li> <li>・外部に対する経営・運営等の情報の公開としては、配布が限られた範囲ではありますが、大船ルーテル教会発行の「月報」を利用して行われています。</li> <li>・ゴミの減量化・リサイクルの促進に関しては、ゴミの分別、布オムツの使用、牛乳パックや広告紙を工作品に活用したりと種々取り組んでいます。また、夜間電力使用の蓄熱式床暖房の採用、空調機の適正使用など、節電・省エネルギーにも取り組んでいます。環境配慮の考え方が、方針や目標の中に明記される段階には至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の理念や基本方針等について職員心得に明記し、職員に周知徹底を図っており、職員はその実践に努めています。</li> <li>・重要な意思決定にあたって、園長は、関係職員・保護者等から情報・意見を集め、説明する仕組みをとっています。スイミングをプログラムに取り入れる際は保護者にアンケートを行い、対応してきました。</li> <li>・主任クラスの職員は、会議などを通して職員の業務状況を把握しています。</li> <li>・今後、園として、職員の理念や基本方針等の理解度を確認する事と、主任クラスがスーパーバイザーとして、職員の業務状況をよりの確に把握できる仕組みについて、検討する事が望まれます。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は区の園長会議、法人4園の全園長・クラスリーダー会議などを通じて、事業運営に影響のある情報を収集・分析して、外部環境の変化に対応して、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っています。</li> <li>・これらはクラスリーダー会議等を通して、職員に周知し、園全体の取り組みに反映しています。</li> <li>・保育園運営に関しての中長期的な計画や目標は運営法人が所在する大船ルーテル保育園本園において、策定されています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年12月1日～12月27日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付(手渡し)  
同封の返送用封筒にて評価機関宛、無記名で返送。
- 3、回収率 71.7% (120枚配布、86枚回収)
- 4、所属クラス 0歳児14人、1歳児15人、2歳児20人、3歳児18人、4歳児12人、5歳児7人。  
ただし同一家族で複数名が在籍の場合には下の園児のクラス。

### 設問ごとの概要

#### 【問1】保育園の保育目標や保育方針について

71%の保護者が知っています。「知っている」と回答した保護者のうち、83%が「目標や方針に賛同できる」と回答していますが、16%の保護者は「どちらとも言えない」と回答しています。

自由記入欄には、キリスト教保育・モンテッソーリ教育に基づいた保育目標や保育方針について、肯定的な意見がある一方、“理解できるように、もう少し説明して欲しい”、“縦割り保育への不安がある”、などの記述もあります。数値71%は、「知っている」「まあ知っている」を合わせたもの。

#### 【問2】入園する時の状況について

7項目の問いに対しての保護者の満足度は、満足が45～74%、不満足は12～38%です。

入園時における見学、説明、面接などについての満足度が低くなっています。

数値45～74%は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの。以下同様。

数値12～38%は「不満」「どちらかといえば不満」を合わせたもの。以下同様。

#### 【問3】年間の計画について

「年間の計画の説明」については、約80%が満足していますが、「計画に保護者の要望が活かされているか」については31%が不満と答えています。自由記入欄には、種々の意見・要望が記述されています。特に、“年末年始の保育について、勤務上大変なので、ぜひ改善してほしい”との声が多数出されています。

#### 【問4】日常の保育内容について

1.「遊びについて」の5項目は81～96%の満足度です。日常の保育に関して、保護者からは高い満足度が得られています。特に、「おもちゃや教材について」は、96%の満足度になっています。自由記入欄には、“外遊びをもっと”との声が複数ありました。また、“保育士のスカート着用が、園児たちの活発な遊びに支障となっているのではないかと心配する声が見られます。

2.「生活について」は6項目の問に対し、5項目について80%以上の満足が得られています。但し、「体調への気配り」や「ケガに関する説明や対応」については、約15%の不満回答もあります。自由記入欄に、ケガへの対応に感謝の言葉がある一方、“子どもの体調不良への気遣い、ケガについての説明や、保護者への連絡について、更にきめ細かい対応を”との声があります。また「おむつはずし」については、該当しない保護者が多数「その他」と回答していることもあり、満足度は62%と低目になっています。

#### 【問5】快適さや安全対策について

「園舎、園庭などの施設について」、保護者の約90%が満足していますが、「外部からの不審者侵入に対する備えについて」は、約30%の保護者が不満と回答しています。「衛生管理や感染症対策について」は、75%の満足度にとどまっています。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

7項目の設問に対して、保護者の満足度は60～78%です。自由記入欄には、“保護者懇談会や個別面談の回数を増やして欲しい”、“行事の際の持ち物など正確さを求める場合はプリントで知らせて欲しい”、“行事開催は平日を避けて欲しい”、等の意見・要望があります。また、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」については、約30%が不満足としています。

#### 【問7】職員の対応について

「お子さんが大切にされているか」、「園生活を楽しんでいるか」は、それぞれ86%、97%の満足度ですが、「不満や要望を気軽に言えるか」、「不満や要望への対応について」の問に関しては約27%の不満回答があります。自由記入欄には園に対する意見・要望も記述されていますが、“保育士さんは真面目に対応してくれる”、“子どものために良くやって頂いている”との感謝の記述も多く見られます。

#### 【問8】総合的な評価について

保護者の満足度は、88%です。10%の不満回答があります。

#### 結果の特徴

「入園する時の状況」について満足度が低くなっているのは、2年前の開園時、全クラス同時入園という状況下、園児の受け入れへの準備が不十分であったという事情が表れたものと思われます。

「年間の計画の説明」について保護者は理解していますが、行事に関しては、保護者へ説明するとともに保護者の要望なども検討し、保護者から積極的な協力・支援が得られるよう努めることが望まれます。また、年末年始の保育のあり方については、多くの保護者から改善の要望が出されています。保護者の就労支援の立場からも検討が望まれます。

「遊び」については、保護者から高い満足度が得られています、モンテッソーリ教育を取り入れた保育が、保護者に理解されていることがうかがえます。

「不審者侵入対策」は社会情勢から不断のテーマと考えられます。実施した対策を保護者に説明すると共に、更なる安全への取り組みが今後も望まれます。

保護者との連携・交流では、“送り迎えの際、我が子の様子を話して欲しい”などの要望が出されています。今後とも保護者とのコミュニケーションの更なる向上が望まれます。

# 利用者家族アンケート集計結果

実施期間：2006年 12月1日～27日

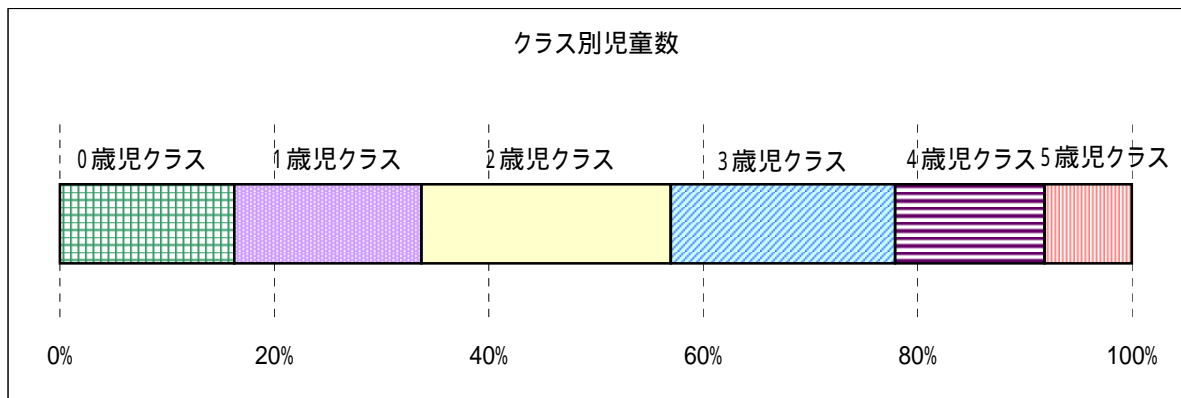
回収率：71.7% (回収数 86枚 / 配付総数 120枚)

## 【属性】

クラス別児童数

複数在籍の場合は、下の子どもで記入

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	合計
14	15	20	18	12	7	0	86





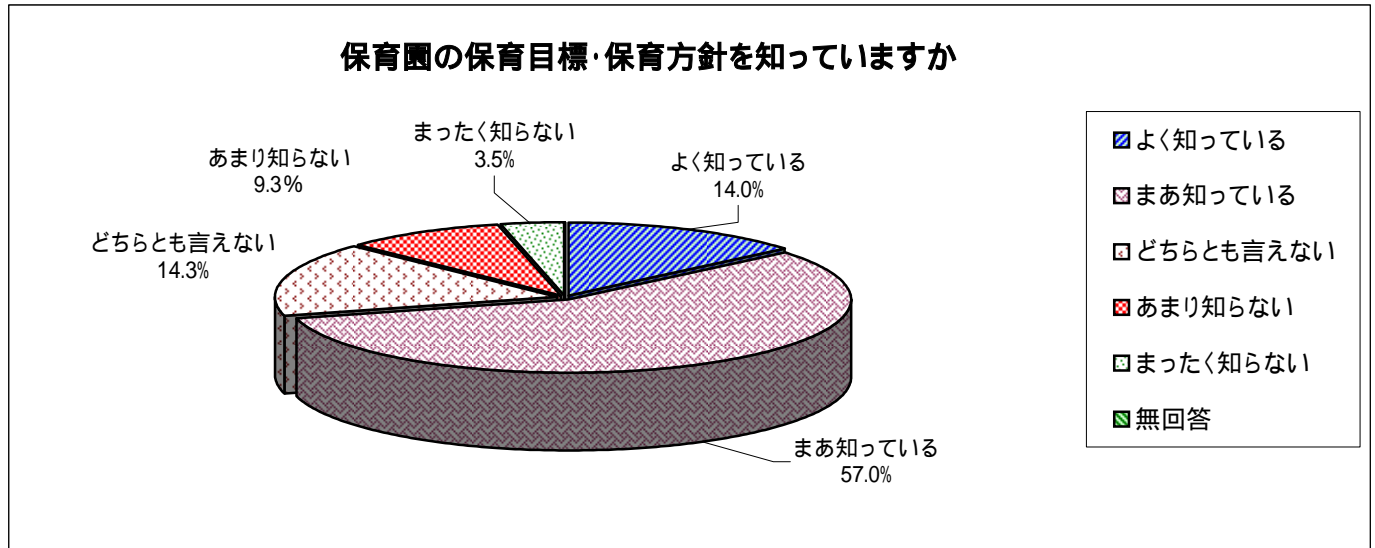
## 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	14.0	57.0	16.3	9.3	3.5	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

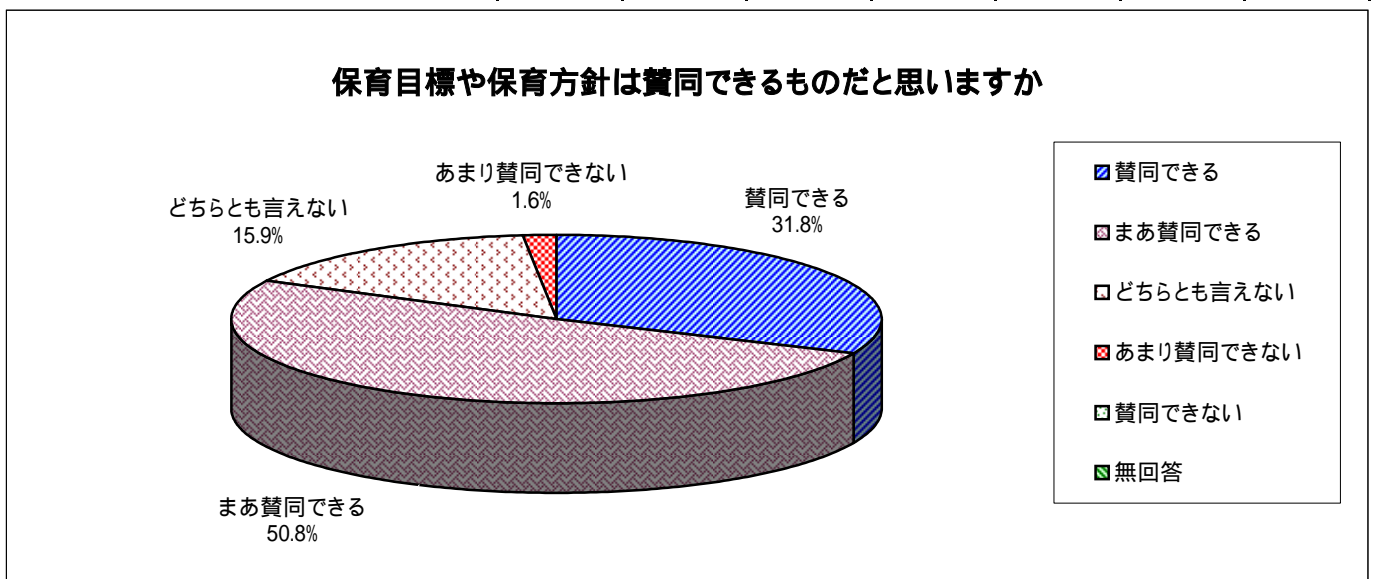


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

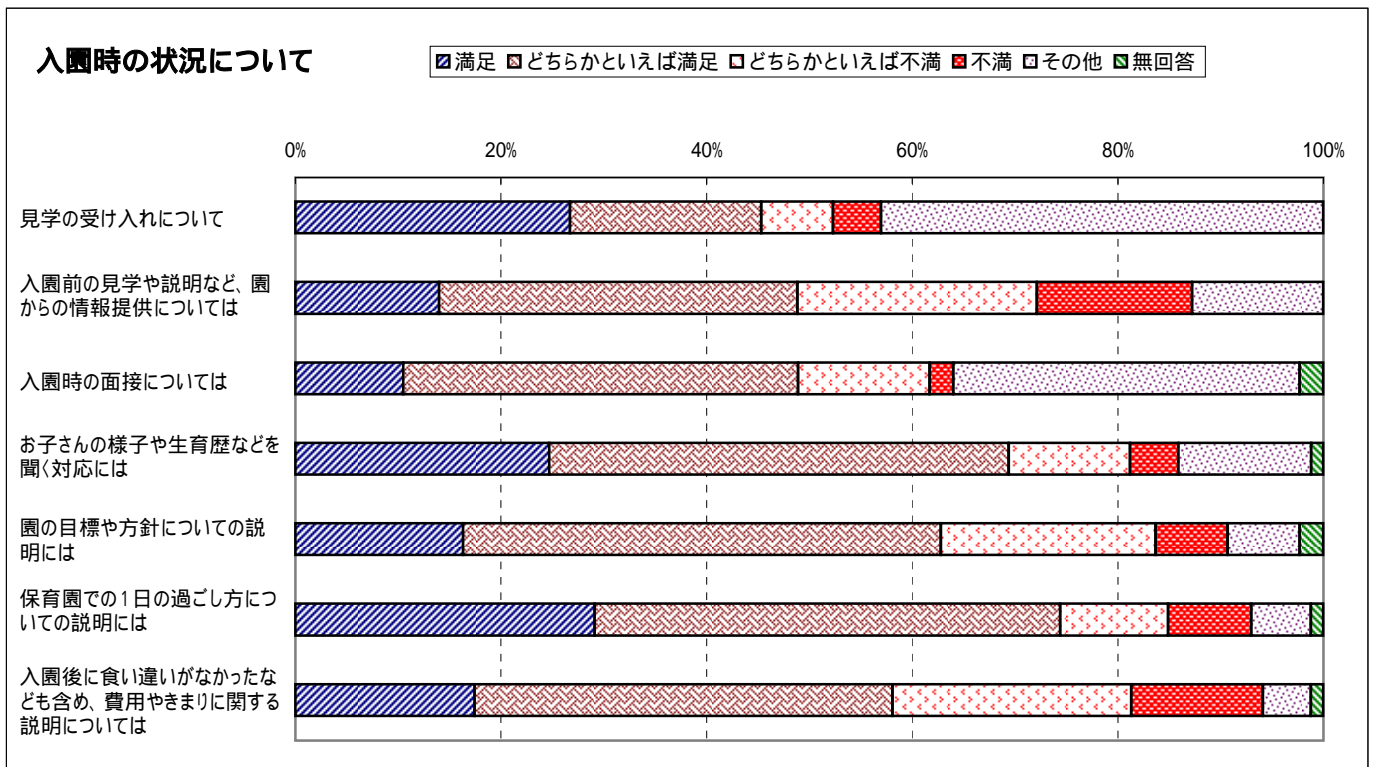
付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	31.8	50.8	15.9	1.6	0.0	0.0	100



## 保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

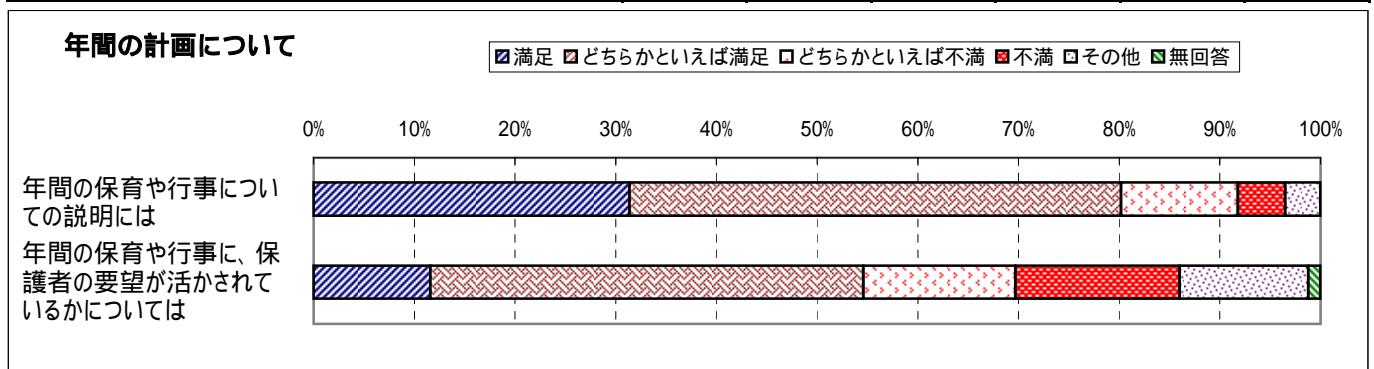
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	26.7	18.6	7.0	4.7	43.0	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	14.0	34.9	23.3	15.1	12.8	0.0	100
入園時の面接については	10.5	38.4	12.8	2.3	33.7	2.3	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	24.7	44.7	11.8	4.7	12.9	1.2	100
園の目標や方針についての説明には	16.3	46.5	20.9	7.0	7.0	2.3	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	29.1	45.3	10.5	8.1	5.8	1.2	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	17.4	40.7	23.3	12.8	4.7	1.2	100



## 問3 年間の計画について

(%)

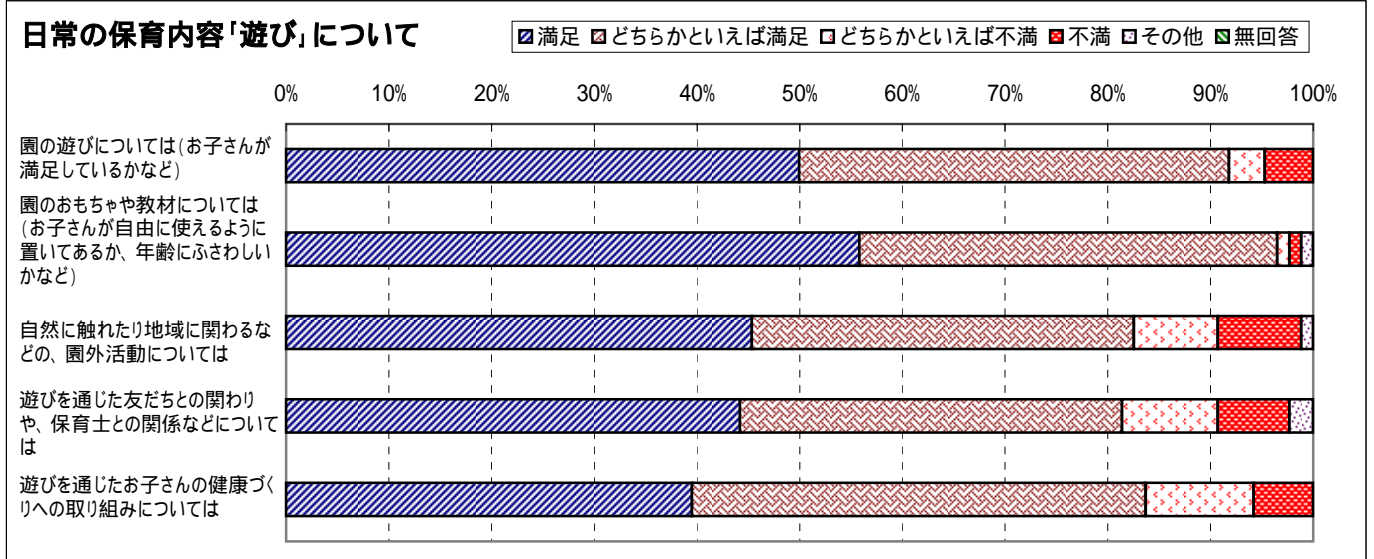
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	31.4	48.8	11.6	4.7	3.5	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	11.6	43.0	15.1	16.3	12.8	1.2	100



#### 問4 日常の保育内容について

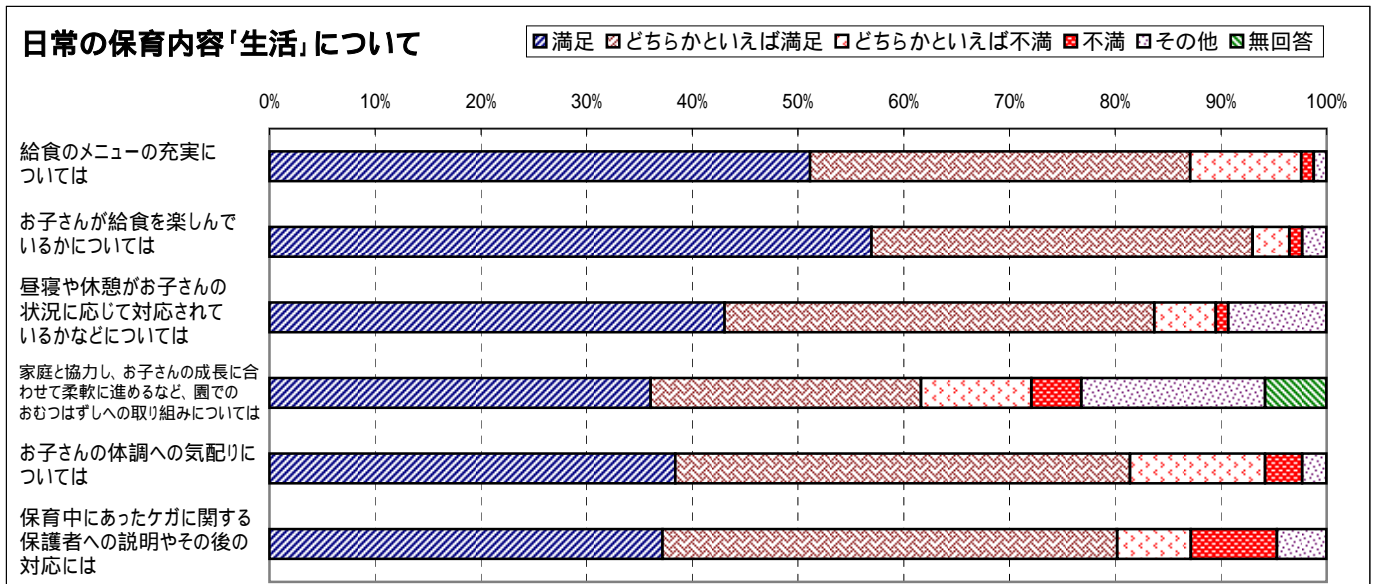
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	50.0	41.9	3.5	4.7	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	55.8	40.7	1.2	1.2	1.2	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	45.3	37.2	8.1	8.1	1.2	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	44.2	37.2	9.3	7.0	2.3	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	39.5	44.2	10.5	5.8	0.0	0.0	100



(%)

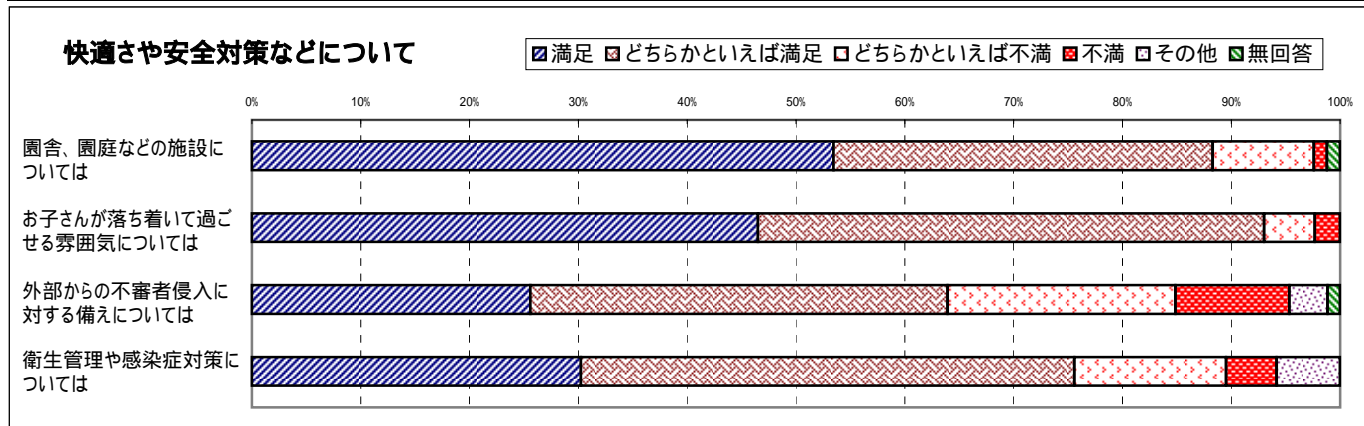
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	51.2	36.0	10.5	1.2	1.2	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	57.0	36.1	3.5	1.2	2.3	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	43.1	40.7	5.8	1.2	9.3	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	36.1	25.6	10.5	4.7	17.4	5.8	100
お子さんの体調への気配りについては	38.4	43.0	12.8	3.5	2.3	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	37.2	43.0	7.0	8.1	4.7	0.0	100



## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

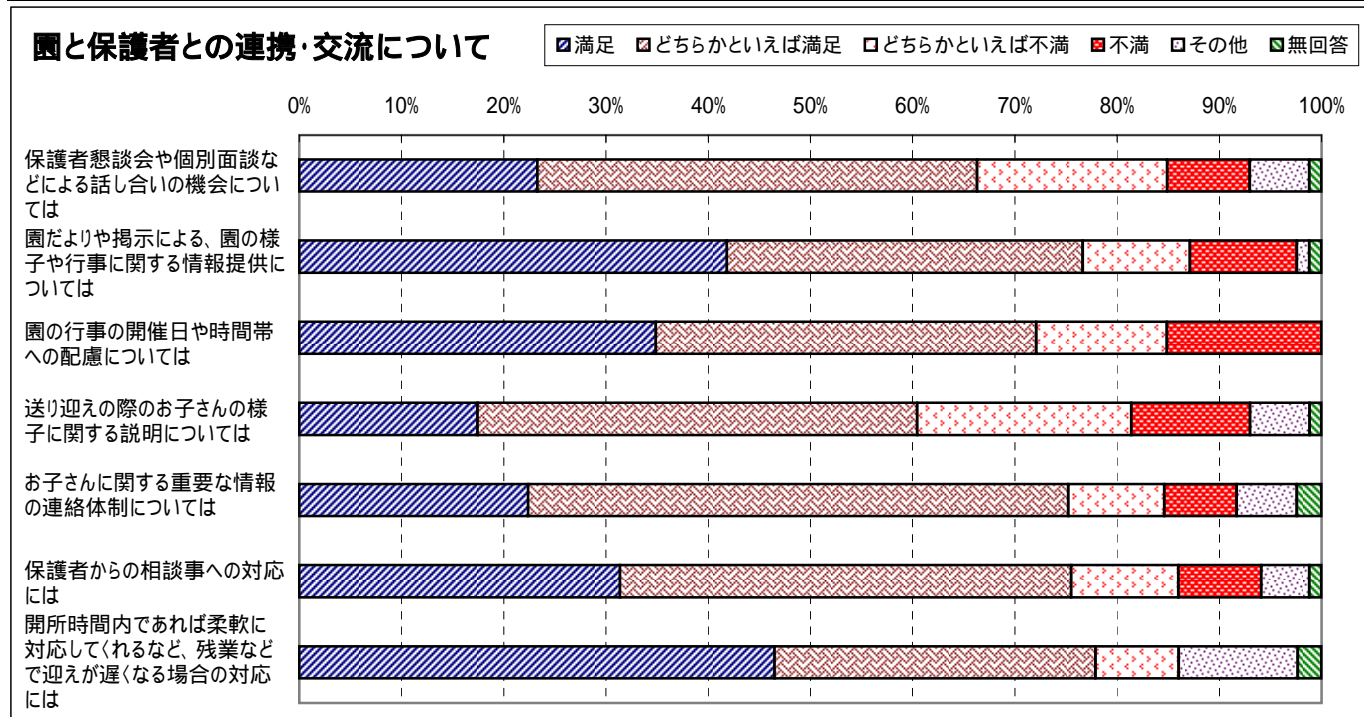
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	53.5	34.9	9.3	1.2	0.0	1.2	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	46.5	46.5	4.7	2.3	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	25.6	38.4	20.9	10.5	3.5	1.2	100
衛生管理や感染症対策については	30.2	45.4	14.0	4.7	5.8	0.0	100



## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

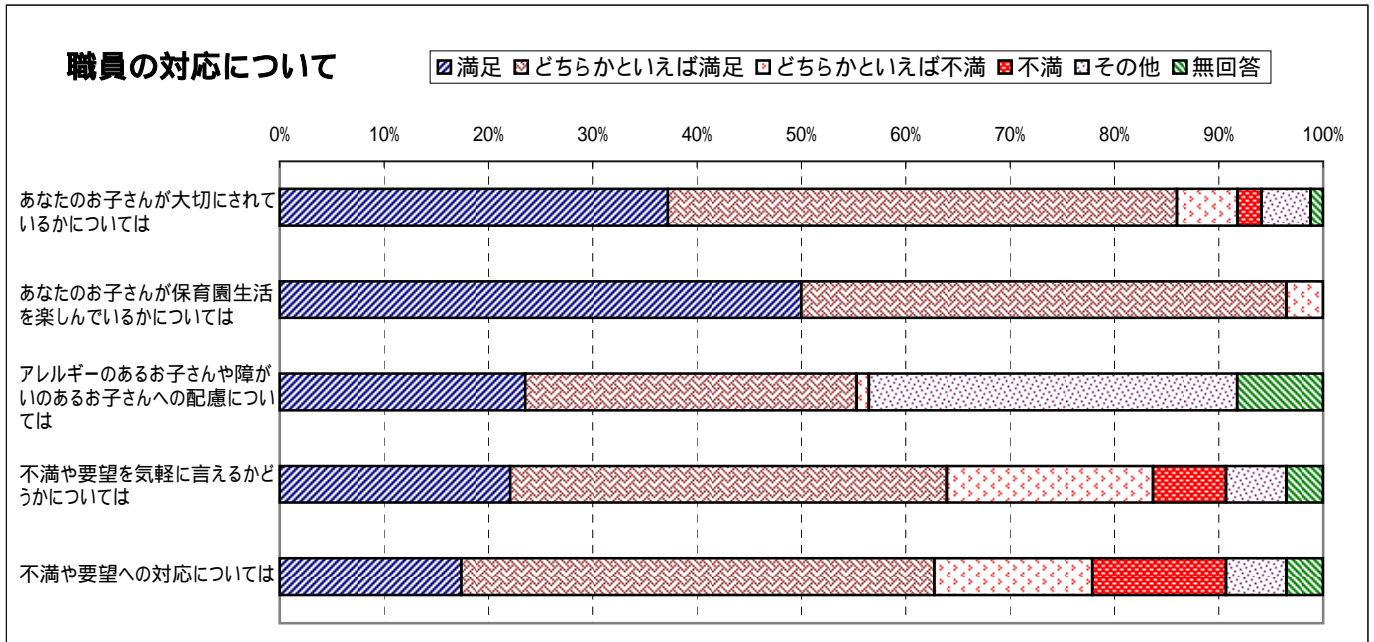
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	23.3	43.0	18.6	8.1	5.8	1.2	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	41.9	34.9	10.5	10.5	1.2	1.2	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	34.9	37.2	12.8	15.1	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	17.4	43.0	20.9	11.6	5.8	1.2	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	22.4	52.9	9.4	7.1	5.9	2.4	100
保護者からの相談事への対応には	31.4	44.2	10.5	8.1	4.7	1.2	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	46.5	31.4	8.1	0.0	11.6	2.3	100



## 問7 職員の対応について

(%)

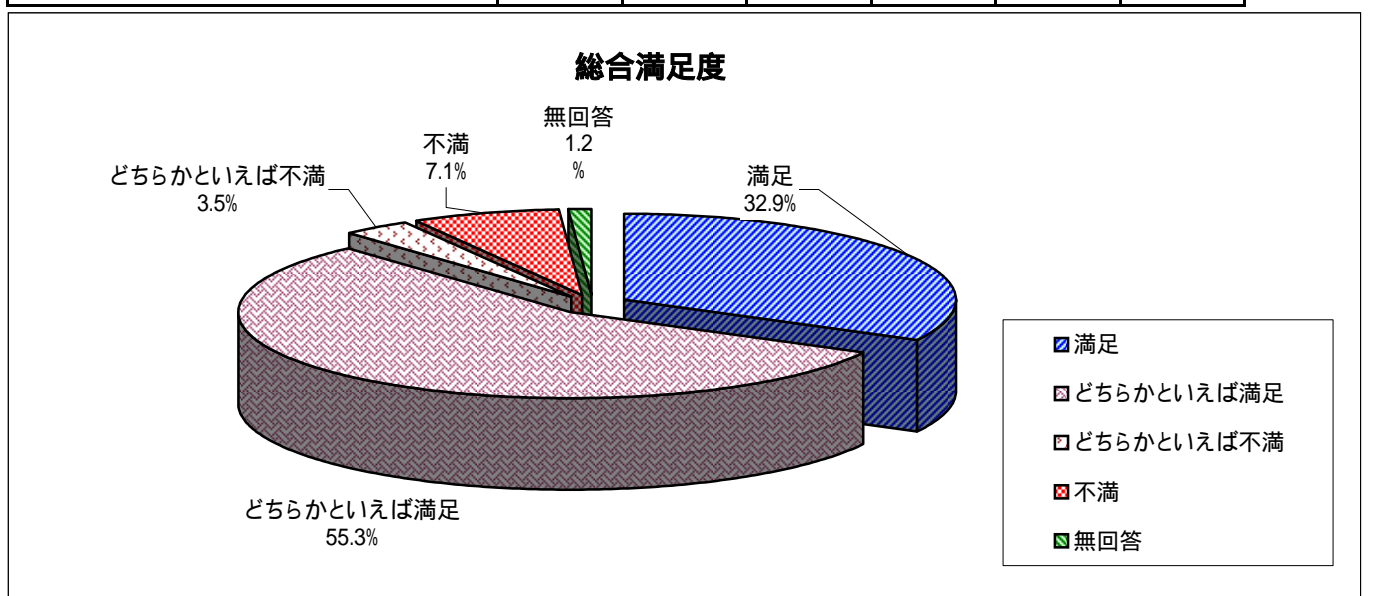
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	37.2	48.8	5.8	2.3	4.7	1.2	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	50.0	46.5	3.5	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	23.5	31.8	1.2	0.0	35.3	8.2	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	22.1	41.9	19.8	7.0	5.8	3.5	100
不満や要望への対応については	17.4	45.3	15.1	12.8	5.8	3.5	100



## 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	32.9	55.3	3.5	7.1	1.2	100



## 利用者本人調査 分析

観察調査 第1日：2007年3月12日(月)、第2日：3月13日(火)

対象：全クラス 観察中、5歳以上の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

大船ルーテル保育園(本園)の姉妹園として一番新しい園であり、もうすぐ2回目の卒園生を送り出すところです。

運営法人である(福)イクソス会の基本理念に沿って、本園同様にキリスト教に基づき、モンテッソーリ教育を取り入れています。園舎は同じ姉妹園のつづきルーテル保育園と同じデザインで、保育の流れに沿って、細部にわたってさらに工夫された建物となっています。各保育室やホールは、出来るだけ空間を多くとり、広く使えるように配慮しています。

### 1. 遊びについて

#### 礼拝・サークル

幼児クラスでは、毎朝、礼拝の前に歌を歌い、出席をとり、お当番さんと今日のスケジュールの説明のあと、整列して胸に手を重ね、ホールに向かい、2クラス合同で礼拝を行います。ローソクに火をともし、賛美歌を歌い、お祈りに続いて園長先生から神様の言葉についてのお話があります。礼拝の間、子どもたちは、静かに集中して聞き、ローソクの火を消して終わります。

乳児クラスには礼拝の代わりにサークルと呼ぶ時間があり、子どもたちは、椅子に座り、保育士と一緒に、手遊びと歌、お祈りをします。

#### モンテッソーリの時間

幼児クラスの子ども達は、登園すると礼拝の時間まで、モンテッソーリの教具の棚から自分の好きな物を自由に取り出し、好きな席に座って「お仕事」と呼ばれる活動を始めます。

一人ひとりが自由に教具を選び、十分に活動に取り組んでいる様子でした。保育士は静かに見守り、時には保育士も一緒に活動の輪に入りますが、子どもたちが順番を決めるなど、主体になっています。

#### 外遊び

乳児クラスは、ほとんど毎日お散歩に出ます。近くに小さな公園がたくさんあり、どこも坂の上にあります。楽しそうにおしゃべりをしながら歩いています。

公園までの道は、人通りが多く、多くの方が、子どもたちに声を掛けてくれて、子どもたちも挨拶を返しています。公園では、近隣の保育園の子どもたちとも出会います。

幼児クラスは、国際や絵画の時間があり、散歩の数は減りますが、自由時間には、園庭に飛び出して、身体を使って良く遊んでいます。人気のある遊びは、2階から下りる長い滑り台です。他には、ジャングルジムや砂遊び、ボールやフラフープなどの遊具を使った遊びをしています。

#### 国際(英語)と絵画

外国人講師が国際の時間、画家の先生が絵画の時間を担当しています。子どもたちはどちらの時間も楽しみにしています。

#### 卒園式の練習

卒園式を間近に控え、合奏練習・卒園式のおことば練習の時間が多くとられていました。

太鼓、ピアノカ、トライアングル、木琴等たくさんの楽器を使っています。別れの言葉も長いセリフも良く覚えています。練習は、ちょっと厳しめですが、子どもたちは一生懸命頑張っています。

## 2. 食事について

乳児クラスは、保育室で給食を食べます。手とスプーンを使いながら、自分で食べています。

幼児クラスは、ランチルームがあり、2 クラス一緒に食べます。お当番さんがエプロンをして、配膳の手伝いをします。2 歳児は、次年度の異年齢保育（縦割りクラス）に慣れるために、年度の後半から、給食の時には数人ずつ交代でランチルームに来て、大きな子と一緒に食べます。

どの子もよく食べ、おかわりもたくさんします。食べ終わると椅子を片付け、食器を所定の位置に戻します。好きな食べ物をヒアリングしましたが、お誕生会の日で、ケーキが出ていたため、ケーキの名前がたくさん出てきました。嫌いな物は減らして、少しだけは食べるそうです。

ランチルームは、テーブルの間が狭く、周りの声で話しが聞きにくいいため、声がだんだんと大きくなるようでした。

## 3. 排泄について

乳児は、1 時間毎におむつを替えるほか、食事やお散歩の前にもおむつを替えます。トイレトレーニングの始まっている子は、おむつを外して、トイレに誘導され、自分で行く子どももいますが、そのまま戻ってくる子どももいます。排便の様子は、0、1 歳児は排泄表に、2 歳児は連絡帳に記入され、保護者に伝えていきます。

## 4. 清潔・健康について

床暖房が取り入れられており、幼児クラスは上履きを履いていますが、乳児クラスの子どもたちは室内では裸足で過ごしています。

乳児クラスでは、食事やおやつ後に、椅子、テーブル、下に敷くビニールシートを消毒液で拭きます。頻繁に保育士が清掃をして清潔を保っています。

幼児クラスは、分別ゴミについて子どもたちが良く理解し、自分で片付けやほうきがけをします。

体調の悪い子どもは、保護者がお迎えに来るまで、状態により部屋の隅に布団を敷いて寝かせ、保育士が様子を見ています。

## 5. いやな思いへの対応や権利を守ることにについて

けんかやもめ事があっても、あまり保育士は直接的には関わりません。言いたいことを言い合って、すぐに仲直りをするのが多く見られました。

子ども達に聞くと、「いやな事やけんかが起きると先生に言いに行く」、「先生は話を聞いて、悪い子は怒ってくれる」そうですが、「話し合って仲直りする」と言う子どももいました。

## 6. 職員について

保育士は、穏やかで丁寧な言葉遣いで子どもたちに接しています。子どもたちに、話を聞いてほしいときには、大きな声を出すのではなく、ベルを鳴らして、子どもたちが落ち着くのを待ちます。

職員は、一人ひとりが、まじめに保育に取り組んでいます。大船の本園や都筑の姉妹園から異動になってきて、この園での経験は同じ年数ですが、それぞれの経験と力量を活かして、保育にあたっています。

男性園長のさりげない接し方は、お兄さん・お父さんのようにおおらかな親しみがあり、子どもたちに人気があります。

## まとめ

子どもたちは、のびのびと明るく、園生活を過ごしています。

子どもたちは、入園してまだ2年目ですが、お祈りもしっかり覚えて、賛美歌も大きな声で歌います。モンテッソーリの活動にも興味を持って、楽しみながら取り組んでいます。

## 事業者意見

当保育園は開園して、やっと2年目を迎えた所でしたので、受審時期としては、早過ぎるのではないかと内部からの意見もありましたが、法人傘下の4保育園が同時にするところに意義がある、との法人側の意向で、受審致しました。

また当園では、開園年度終わりより、園長が約半年間、事情で休職となり、そして新園長が昇任してまもなくの受審となり、開園以来解決しなければならない様々な課題や、新規事業に十分な準備の出来ぬ間のスタート、そしてつまづき等々、クリアしなければならないハードルは多く、不安材料が多い時期の受審でした。

ただ、私たちは精一杯の保育のこころをもって対応し、子ども達は、それなりに応えて、互いに成長出来た事は感謝であります。

最終的に報告書と利用者家族アンケートを拝見すると、保護者の大部分は、温かい目で見守ってくださっている事が判り、更に次のステップに踏み出す期待感もうかがえて感謝しております。その上、評価者のコメントは、私どもの励ましになりました事を改めて付け加えさせていただきます。

とは言え、今後整備すべき所が多くありました。そのことを貴重な御意見として受けとめ、改善致し、保育内容の向上、子どもの幸せ、保護者への適切な支援充実の為に、引き続き努力する所存であります。

具体的には次の如くであります。なお、年度をまたいだ調査報告書ですので、実施済みのものもあります。

- 1、保護者との意思疎通をより有効にし、育児支援を効果あるものにする為に、2名の保育経験の豊かな保育士を配置しました。これらの者が保護者の声の窓口になりましょう。
- 2、年間行事計画などの説明責任を十分に果たしていない所もありましたので、検討いたします。
- 3、年末年始の保育については、年度当初から明示し、対応いたします。
- 4、入園時の面接と送迎時の説明は、つづきルーテル保育園の事業者意見に詳述してあります。
- 5、評価報告書を再学習の為に資料として活用させていただき、将来の保育に益するように努めます。

最後になりますが、一つ思うところを述べて終わりにします。

今の時に「保育の質」が問われています。そのため、保育士、また施設側に様々な事が求められてもいます。その求められることを成し遂げていくためには、時間がとられてしまいます。その時間を作り出すためには、人と、お金が必要になってきます。というのも、保育中に会議をすれば、会議に出席する保育士の代わりにする保育士が必要になります。このことは保育時間中の研修に出席することも同じであります。また、保育の時間外の会議となると、当園は21時までの開所なので、それ以降まで職員を拘束することは、職員のことを考えても、費用のことから考えても、できないことです。

(当園に限らず、)横浜市の補助金は、毎年減らされる一方でありながら、こちら側に求めてくるものは、増えていく一方という現状です。

そんな状況で本当に「保育の質」が向上されていくのでしょうか。

今のままを続けていくなれば、保育士が疲弊し、子ども達によく影響が出てくるのではないかと心配致します。

人が育つには、時間とお金がかかることは仕方がないことでしょう。そして、その時間とお金は無駄になることはないでしょう。大切な人を育てるために、税金を無駄に使うのではなく、保育料の未納をするのではなく、子ども達のために、大人がきちんとしなければいけないと思います。